

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		市道1462号線外道路改良事業						予算事業名		市道1468号線道路改良事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法、道路構造令、結城市道の構造の技術的基準等を定める条例					
				08	02	03	2006	経常経費							
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業					
		2-3便利で快適に移動できるまちづくり(道路・公共交通)								重点事業					
		①道路ネットワークの形成						担当課係等		土木課					
		2快適に移動できる道路の整備								改良係					
事業期間		新規(令和元年度～令和4年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
県道から病院・リハビリセンターへのアクセスが向上する。また、沿線住民の利便性の向上が見込まれる。								この地域には、複数の医療福祉施設があり、施設間の往来も盛んであるが、周辺道路の幅員が狭く入り組んでおり、アクセス道路の整備が必要であるため。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
市道1462号線外の約1500m区間を現道拡幅及び道路新設により整備する。  平成30年度 路線測量委託  令和元年度 道路詳細設計委託								沿線住民と道路利用者    【事業をとりまく環境の変化】 ※旧逆井調整池周辺地区整備事業 令和元年度から新規路線として国補助事業を活用した道路整備を推進する。							
【令和2年度 事業内容】				【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】							
道路詳細設計委託 1式 用地測量委託 1式 物件補償算定委託 1式				不動産鑑定委託 1式 用地買収・物件移転補償 1式				用地買収・物件移転補償 1式							

■事業費

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	7,500			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	4,320	7,500			
歳入計(千円)		4,320	15,000			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	13委託料	4,320	15,000			
歳出計(千円)(A)		4,320	15,000			
伸び率(%)			247.22			
備考	総合計画82ページ 予算書 ページ					

# 平成30年度行政評価シート

## ■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	進捗率	%	目標	0.93	3.86	13.66
	事業費ベース		実績	0.86	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	複数の医療福祉施設があり、アクセス道路の整備が必要であるため、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	道路線形の決定の際、安全性を確保しつつ、できる限り物件移転が伴わないよう計画し、コストの効率化に努める。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、広く便益が提供されることから偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	改良工事は未着手のため、どちらとも言えない状況である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	路線測量委託が完了し、計画どおり進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
平成30年度事業は計画どおり進んでいるが、国庫補助金が要望どおりに交付されない場合、事業の遅延が危惧される。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
国庫補助金が要望どおり交付されるよう県等関係機関に要望していく。			

## ■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充）☐ 改善改革しながら継続☒ 現状のまま継続（改善・改革なし）☐ 統合・新規事業への展開

☐ 縮小☐ 休止☐ 廃止・終了

改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）

今後詳細設計・用地測量・用地買収・物件補償その後工事着手と補助事業の年次計画で進める。

2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充）☐ 改善改革しながら継続☐ 現状のまま継続（改善・改革なし）☐ 統合・新規事業への展開

☐ 縮小☐ 休止☐ 廃止・終了

企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。